

貧酸素水塊速報 (2015年)

【発行】 ○ 千葉県水産総合研究センター
 ○ 神奈川県水産技術センター

千葉県農林水産技術会議
 内湾底びき網研究会連合会

【協力】 千葉県環境研究センター
 第三管区海上保安本部
 モニタリングポスト(海上保安庁, 国土交通省 関東地方整備局)

東京都環境局
 (独) 国立環境研究所

(今回の速報は“○”の機関の観測データを使用して作成しました)

平成27年9月10日観測結果

貧酸素水塊は内湾北部に分布しています(図1)。縦断ラインでの鉛直分布によると、溶存酸素量1.0ml/L以下の水塊の厚みは薄く、規模も直近10年の平均を下回っています(図2、3)。しかし、今後好天が続き赤潮状態となると、再び貧酸素水塊の規模が拡大する可能性があるため、引き続き注意が必要です。

ここ数日の降雨の影響で、河川の河口周辺は濁った淡水が流入しています。

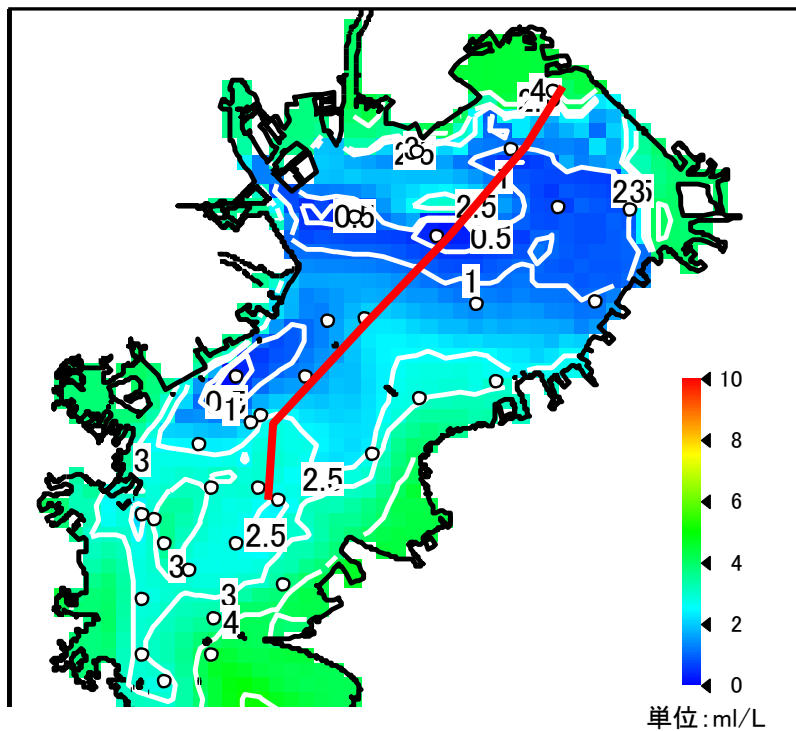


図1 底層の溶存酸素量分布(赤線は縦断ライン)

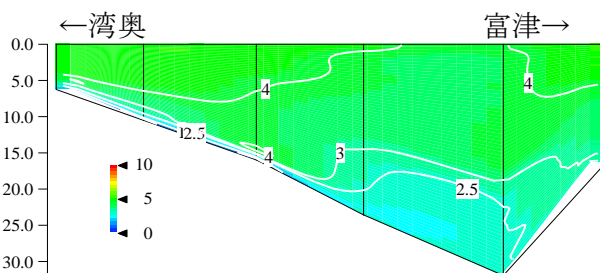


図2 縦断ラインでのDO鉛直分布

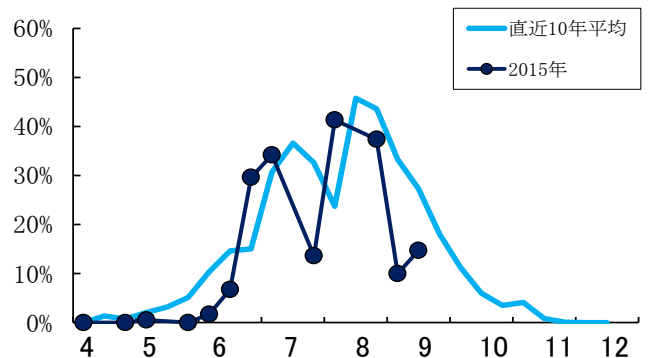


図3 貧酸素水塊の規模
(左図で貧酸素水塊(2.5ml/L以下)が占める割合)